

## 3Dプリンターで部品

# 99%の鉄で造形

日本鑄造

JFEスチールグループの日本鑄造は、純度の高い鉄を材料に3D（3次元）プリンターで積層造形する技術を開発した。最大99%の純度で機械向け部品などをつくれる。高価なアルミやチタンを代替でき、製造コストは3割ほど下がる。建設機械メーカーから受託し量産を2025年中に始める。高効率なものづくり手法の活用を顧客企業に促す。

では金属粉末をレーザーで焼き固め、層を積み重ねて立体物へと形づく。鑄造より複雑な立体物をつくれるほか、量産開始までの期間も全体で3カ月ほどから1〜2週間まで短縮できるとい

料はアルミやチタン、ステンレスを使うため高い。

日本鑄造は3Dプリンターの造形に最大純度99%の鉄と炭素からなる材料が使える新技術を開発し、国際特許を取得した。

ネットが製造コストだ。プリンターの価格は新品で欧州製がほとんどだった数年前の1億5千万円ほどから、中国製の増加により7千万円程度まで下がった。一方、材